

特集 プロジェクトAⅡ： 19世紀末から今世紀初頭における国際秩序の形成と国民文化の変容(2)

はじめに

西 川 長 夫

「19世紀末から今世紀初頭における国際秩序の形成と国民文化の変容」といういささか長いテーマをかかげて三年にわたって行われた共同研究（プロジェクトAⅡ）は、形式的には1998年の3月末日で終了し、それを引き継ぐ形で、世界システム論の批判的研究をテーマにした新しい共同研究（プロジェクトAⅠ）がすでに始まっている。

今回の特集は2回目で（第1回の特集は、第8巻5・6合併号に収められている）、中村哲先生にいただいた長文の論考を別とすれば、いずれも計画されていた論文集のために書かれたものであるが、論文集の刊行が諸般の事情で予定よりかなり遅れることになったので、とりあえず本巻に発表させていただくことにした。研究会の主旨や内容については、第1回の特集に渡辺公三氏によるくわしい説明があるのでここでは省略するが、第1回の特集とあわせて今回の特集を読んでいただければ、この研究会で行われたことの全体的なイメージをつかんでいただけるのではないかと思う。

なお中村先生の論考は本研究会の弱点である経済面の欠落をおぎなうために特にお願いして研究会で御報告いただいたものであるが、このような立派な論考をいただいたことに感謝するとともに、紀要の刊行が大幅に遅れて御迷惑をおかけしたことをおわびしたい。また研究会に参加していただいた方々には、論文集の刊行が遅れていることを改めておわびしたい。幸い多くの方々の御好意によって、ようやく論文集の刊行の目処がつき、本研究所創立十周年の記念事業の一環として、本年末には柏書房から出版されることになった。タイトルとしては、「世紀転換期の国際秩序の形成と国民文化の変容」（仮題）が考えられているが、高い評価を得た『幕末・明治期の国民国家形成と国民文化の変容』（新曜社、1995.3）の続編としての新たな展開が期待されており、改めて皆様の御協力をおねがいしたいと思う。